

富山県内向け団体特別企画！

水辺のまち夢ぷらん 松川遊覧船と富山市まちなかの魅力を再発見！

企画・実施 中部観光株式会社 TEL/076-425-3011 / FAX: 076-421-4635

〒939-2251 富山県富山市黒崎 445 第一種旅行業 観光庁長官登録旅行業 第1884号



協力: 富山市内のまちの駅 各店舗

富山県内各地(9:00 発)バス移動

===松川茶屋(10:00)水の都・富山の歴史と文化を遊覧船で体験！~~~~~

(船長が松川から見る富山を解説) *20名以上集まれば、通常価格1,500円のところ500円にて。

*5月~11月限定企画(富山県内の団体に限りませう。)

~~~~~途中降車(10:20) 徒歩で街中観光ガイドが御案内(10:20~10:50)

.....「富山城下[七口]巡ります寿司巡り」観光ガイドと一緒にます寿司の歴史を学びませう。.....

城下町富山には東西南北に7つの出入口(七口)がありました。

このうち旧北陸道の西口に当たる「愛宕新町口」では、舟を鎖でつないだ「舟橋」が(当時の)神通川(痕跡が松川)に渡され、岸には川魚屋が並んでいました。その多くはます寿司屋となつて、町の歴史を今に伝えています。店の歴史をお聞きするとともに、町を巡つて往時に思いを馳させませう。

\*川上 / 高田屋 / せきのや / 関野屋などの老舗をめぐるませう。(有料にて試食をご用意いたします)

~~~~~いたち川・石倉延名水など解説~~~~~松川茶屋(11:10 着)バス移動=====

=====池田屋安兵衛商店/薬膳料理の昼食(11:30~13:00)=====

医は食から.....健康を考えた食空間 富山市の池田屋安兵衛商店の2階にある「薬都」で野草アイスクリームを食べることができます。ヨモギやウコンなど数種類。ハーブティや野草茶なども提供しています。古代米や高麗人参など薬草を取り入れた健康薬膳(要予約・ランチのみ)が人気！

【黒米おこわ3,150円コース内容】*メニューは季節により若干異なる場合があります。

- 一: 一口の野草酒 二: 季節の前菜 三: 煮物 四: 焼き物 五: 高麗人参と団子のスープ
六: 黒米の山菜おこわ 七: 香の物 八: 野草の天ぷら 九: 特製デザート



=富山市まちなかウォーク(13:10~14:10) 富山の街中の魅力ある商店をまとめてご紹介します!..

* 街中ウォークマップ: 無料にて配布いたします。 詳細はこちらでhttp://chubu-kanko.jp/t_walk/index.html

=====富山県内各地(15:00 着)

旅行代金(この旅行は当社中部観光株式会社との手配旅行契約となります。)

*バス代金: 乗車人員・出発により異なります。 *詳細はお問い合わせください。

*観光にかかる費用: 松川遊覧船 水辺のまち夢プラン 20名様以上の場合 500円(通常1,500円)

*富山城下[七口]巡ります寿司巡り 観光ガイド費用(実費) *詳細はお問い合わせください。
富山城下[七口]巡ります寿司巡り ます寿司試食費用(実費にて: 500円程度)

*池田屋安兵衛商店 薬膳料理: 2,100円~3,150円

【オプションツルツアーのご案内】

*観光ガイドが案内する街中ガイドツアー老舗のお店（月世界本舗・島川の鮎・池田屋他）を御案内いたします。



*街中体験①味の笹義 約30分のます寿司作り体験！ 体験費用：1,300円

鱧寿司の起源は遠く二百数十年の享保二年、割烹の術に秀でて居た富山藩士吉村新八が始めて之を作り三代藩主前田利与に献じました処、大変御意に叶い早速新八に鱧の寿司漬け役を命じられ、時の將軍徳川吉宗に献上し激賞を受け反魂丹と共に富山の名産となって今日に至りました。

*笹を敷いてご飯を乗せ、鱧の身をちぎってのせるお手軽な体験です。

お土産として作ったます寿司一人前をお持ち帰りいただけます！



*街中体験②松住商店 和蠟燭の絵付け体験！700円～

絵蠟燭は山形県鶴岡にて冬、仏様にお供えするお花が少なかったことにより蠟燭にお花の絵を顔料で描き創めたと伝えられています。1786年頃からは参勤交代のお土産の一部として將軍様に献上されるようになったとのことです。

大正末期から昭和初期にかけて転写紙（特殊印刷）が開発されと大量生産が行われるようになり、当店でも取り扱っております。*手作りの和蠟燭に筆で手描きする絵蠟燭の製造を行っております。

絵柄については各地の伝統を受け継いでいるものではなく、写生に始まり適当なディフォルメを加え当店オリジナルの絵柄を作成しております。

用途 1. お墓参りやご仏壇、法要に 2. ディナーに 3. インテリアに 4. リラックス・タイムを楽しむために。

